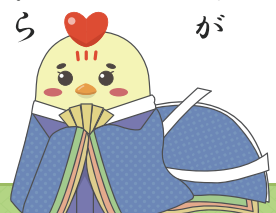


狭山池 悲願を抱いた 古池や 今の我らにも 天水をよえ 天壤無窮 	帰り道 スーツケースが 軽いのは 連れて帰れぬ 想いがあるから ばんけーき 	戸を開けて 踏み出す一歩 大切に いつも旅は それから始まる てん 	上がる足 朱色の景降る 登山道 落ちていく葉と 終わっていく年 ウツヒヨワアアア 	この世には 差別があるし 存在する いろんなことも 多様性 M K 
いまのわれら にもてんすい をあたえ	つれてかえ れぬおもい があるから	いつもたび はそれから はじまる	おちていく はとおわっ てゆくとし	いろんなこ ともたよう せい